

広報とうかい
人・自然・文化が響き合うまち

Tokai

April

[No.746]

4・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2007年[平成19年]

Contents [4月の主な話題]

- 平成19年度村政運営の基本方針・予算・主な新規事業……………2

離陸の年 高度科学研究文化都市への第一歩

- 4月1日から組織機構を見直しました……………8

企画総務部、福祉部、建設水道部を大幅に改編!

- 地域医療を担う村立東海病院……………10

- 筋力トレーニング教室に参加してみませんか?……………11

- ず〜むあっぷ「まちの風景」……………12

- 青少年育成体験記(PART.85)―[白方]西野正彦さん……………14

オール東海ジュニアの指導者として

- 今どきの青少年(VOL.95)―[船場]小泉裕加さん……………15

東海村吹奏楽団に参加して

- STATION GALLERY……………16

- 図書館トピックス……………17

- いんふおめーしょん……………18

- わが家の子育て奮戦記……………22

[舟石川駅西]黒沢有紀さん・夏海くん・風夏ちゃん



離陸の年々高度科学研究文化都市への第一歩

村政運営の基本方針

東海村長 村上達也

東海村の行政力・財政力・住民の力は確実に向上しており、平成19年は東海村の21世紀に向けての「離陸の年」と考えています。村政運営は、「東海村第4次総合計画（とうかい21世紀プラン）後期基本計画」に基礎を置いていきます。その基本理念が「人・自然・文化が響き合うまち」です。これは日本人に体質化している経済主義、効率主義から脱却し、人の存在そのもの、つまり人権を重視しようというものであり、換言すれば人と環境を優先する行政の推進を目標に掲げたものです。これに基づき、村政は福祉、教育、環境、農業を4本柱とし、時代状況を取り込みながら推進してきた結果、各分野でほかの自治体から注目される成果を上げつつあり、基本理念の重要性はますます高まっています。

地方自治の根源は住民自治にあります。その基盤づくりとして住民参画、住民との協働を推進してきました。さらに、住民自治の受け皿である地域自治組織の整備を支援してきました。自治会制への移行、自治会連合会の設立、新たな地区委員会の設立、地区社会福祉協議会設立推進などがその主なものです。しかし、まだ端緒を切り開いたところであり、さらなる努力が求められています。

また、国の行財政改革のあおり、つまり三位

一体改革で地方財政は困難を極めている現状にあり、この基調は今後も続くものとの前提で、本村においては、長期的視点からここ数年行財政の基盤づくりを志向してきました。今後この路線を堅持していく考えです。

原子力センター東海村は、大強度陽子加速器の完成に伴い、新たなステージに入ります。世界の先進的研究センター、第二のつくば「高度科学研究文化都市」に向かつての環境整備が喫緊の課題となつてきています。

格差社会と言われる中、新たな地方行政の課題は、社会的弱者と言われる人々を地域社会がどう取り込み、真に豊かな社会をつくっていくかです。このような時代だからこそ、地方行政の役割はかつてないほど重みを増してきています。地方行政に携わる私たちは、住民の生活実態をしっかりと見定め、住民の視点に立ち、使命感を持って村政運営を行っていきます。

総務について

地方分権の進展、行政需要の複雑多様化を展望し、引き続き自治能力の涵養に努めていきます。行政においては第3次行財政改革大綱による行政改革の推進、組織体制、人事制度の改善を進めていきます。住民自治においては地域自治体制の整備をさらに進めて、昨年発足した自治会制度の充実、その基本精神となる「自治基本条例」策定に取り組みます。また、社会福祉協議会の進めている地区社会福祉協議会設立活

動と連携を深め、支援してまいります。

男女共同参画においては、東海村男女共同参画行動計画「レインボー・ビジョン21」の考えを一步進めた条例の推進を図ります。

大強度陽子加速器の平成20年度稼働の受け皿として進めてきた連携大学院構想は、県やNTTとの協議が進展し、本年度は県と連携を図り、実現できるよう取り組んでいきます。また、茨城大学との共催により、本村で公開講座を開催します。これは、「高度科学研究文化都市」への第一歩が踏み出せる年になったということ です。

他に新規事業として、村民相談室を庁内に設け、これまでの村民提案窓口に加え、ニートやフリーターと称されている若者などを対象とした就職相談窓口や男女共同参画に関する相談窓口を設けます。

福祉について

本村にあつては何人も差別なく、安心して生活を全うできる、それを保障する責務があると自覚しています。平成18年の障害者自立支援法の施行によって、その名称とは裏腹に障がい者とその家庭は経済的困難に直面しています。この制度的欠陥を是正するため取り上げたのが、障害福祉サービス利用者負担金と食費の一部を助成する事業です。

また、若い世代への福祉政策が全体的な福祉行政の中であまり重要視されていない現状にかんがみ、子育て支援の経済的支援策として保育

料を10パーセント引き下げます。さらに、村立幼稚園においては、新たに預かり保育事業を開始し、保護者の子育て、就業支援を開始します。

今年7月に開館予定の(仮称)地域包括支援センターでは、高齢者の中核機関として総合相談・介護予防支援の事業が、また、障がい者のための地域活動支援センターでは、3障がい者の生活支援や自立に向けた事業が開始となります。また、発達障がいのある幼児・児童・生徒の発達支援教室を開設するなど、高齢者と障がい者のための支援事業を始めます。

昨年オープンした新東海病院は、順調に村民の期待に応えているところですが、一方で厳しい医療事情は当院も同様で、医師の安定的な確保に苦勞している面もあります。まずは病院経営が第一ですが、将来的には医療・保健・福祉の中核的役割を担ってもらう方針です。

教育について

ソフト面では、学校の主体性を発揮してもらうための「マイスクール推進事業」、スポーツの地域普及振興のための「総合型地域スポーツクラブ」の立ち上げ、村の文化と自然の保存・保護のため活動している市民団体への支援事業を新たに開始します。

ハード面では、白方小学校の建設事業においては基本設計が終了し、実施設計に入ります。同時に、遺跡の発掘調査を行っていきます。次に予定されている照沼小学校の建設は、平成19年度に建設計画検討委員会を設置し、協議・検討を開始します。また、耐震対策として中丸小

学校と東海中学校のプレハブ校舎を解体し、新たにプレハブ校舎の賃借、また、生徒の安全を守るため全小・中学校の防火シャッターの改修、引き続きの「日本一きれいな学校トイレ」を目指したトイレの改修、村松小学校の体育館の外装改修工事等を計画しています。また、かねて要望のあった久慈川河川敷運動公園外側に、2か所トイレを設置する予定です。

環境について

地球温暖化というものが遠い先の話だろうと思っていた人たちも、ここ2、3年の気候変動などにより、否定する人は無くなってきたように思います。

その間にあって本村は、ISO14001の認証を取得し、「環境基本計画」、「地球温暖化対策実行計画(とうかいエコオフィスプラン)」を管理運営した結果、役場本庁舎の5か年での二酸化炭素削減目標7パーセントの達成が確実となりました。第2次計画では、本庁舎ばかりでなく事業系施設も適用対象に拡大して、向こう5年間でさらに5パーセント削減を目指しています。また、昨年、県内ではほかに先んじて唯一「地球温暖化対策地域協議会」を立ち上げ、二酸化炭素削減対策について協議しています。このような二酸化炭素削減対策の取り組みにより、昨年、本村は県内市町村で初めての「茨城エコ事業所」に認定されました。

さて、このような「環境にやさしいまち」東海村で、現時点で明らかに他市町村から取り残されているのは、ごみ収集袋の指定化です。この目

的は、単に費用負担を住民に課すということではなく、ごみ分別収集の高度化、再資源化の推進、焼却処理ごみの減量化を目指したものです。

また、残された貴重な緑地を保全し、さらに緑化を推進するため、東海村発足50周年記念事業として緑化基金を創設しましたが、今年度中には「緑地保全・緑化推進条例」を制定し、村を挙げて緑地保全・緑化推進に取り組んでいく体制を構築していきます。

農業について

高齢化や担い手不足、減農薬減化学肥料での生産など、農業の課題はたくさんありますが、それらの問題を解く鍵は、地域循環、地産地消の推進です。このような中、平成19年度は、主に中小農業の維持・育成、地産地消を目標に、安全・安心な農作物栽培の奨励、安全・安心な特別栽培の認証、農産物加工品開発の推進、農業推進地区内の中畑の解消などを開始します。これらの事業にかかわる予算はまだ少額ですが、大きく育つ種をまくことができました。

財政について

税金で賄う普通会計の村債残高は、平成18年度末に84億円、平成19年度末には78億円の見込みであり、基金残高の総額は、平成19年度末には約96億円に達します。歳入を有効に使うというご意見もあるかと思いますが、今はかつての高度成長期のように年々歳入が増加するという時代ではありません。長期的な観点から将来に備え、しっかりと準備金を保有していきたいと考えています。

平成19年度予算の概要

問合せ 企画政策部財務課財政担当(☎282-1711 内線1383)

平成19年度当初予算が東海村議会第1回定例会で可決されました。平成19年度の一般会計予算額は、対前年度予算比0.7%増の159億3,500万円です。これに国民健康保険事業など特別会計予算額92億6,873万1千円、水道・病院事業の企業会計27億3,634万9千円を加えた予算規模は、対前年度予算比で3.0%増の総額279億4,008万円となっています。村では、当初予算のほか、3月末現在と9月末現在の予算の執行状況や、前年度の決算状況など、分かりやすい財政情報の提供に努めていきます。

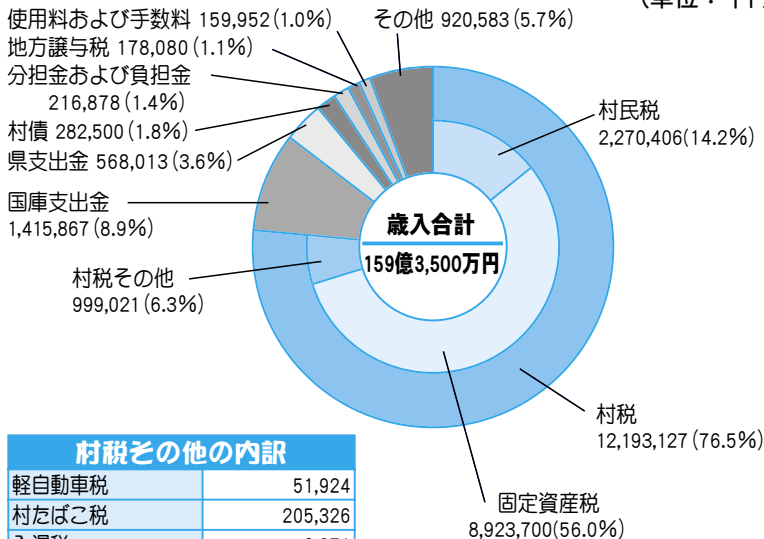
《平成19年度予算総括》 (単位：千円)

会計名	19年度 予算額	18年度 予算額	増減率	
一般会計	15,935,000	15,826,000	0.7%	
特別会計	9,268,731	8,734,309	6.1%	
国民健康保険事業会計	2,643,000	2,282,000	15.8%	
老人保健事業会計	2,103,000	1,943,700	8.2%	
介護保険事業会計	保険事業勘定	1,503,950	1,478,700	1.7%
	介護サービス事業勘定	4,471	23,460	△80.9%
東海駅西土地区画整理事業会計	94,000	94,100	△0.1%	
東海駅東土地区画整理事業会計	126,400	141,100	△10.4%	
東海駅西第二土地区画整理事業会計	304,400	304,400	0.0%	
東海中央土地区画整理事業会計	707,000	654,000	8.1%	
公共下水道事業会計	1,736,000	1,754,300	△1.0%	
公園墓地須和間霊園事業会計	46,510	58,549	△20.6%	
企業会計	2,736,349	2,570,462	6.5%	
水道事業会計	1,341,000	934,300	43.5%	
病院事業会計	1,395,349	1,636,162	△14.7%	
総計	27,940,080	27,130,771	3.0%	

《一般会計予算(歳入)》

(単位：千円)

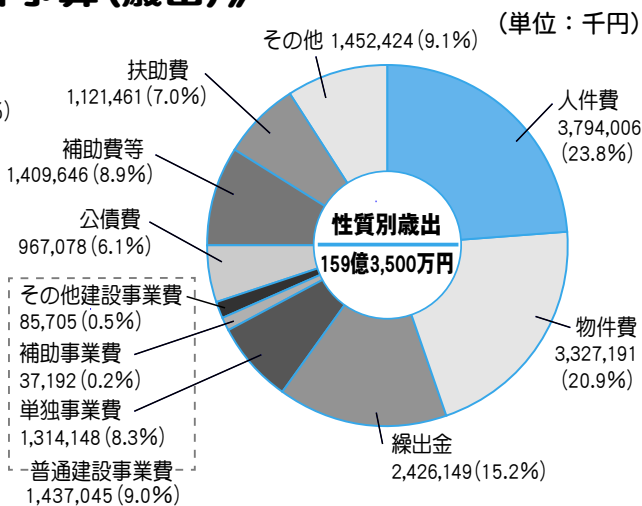
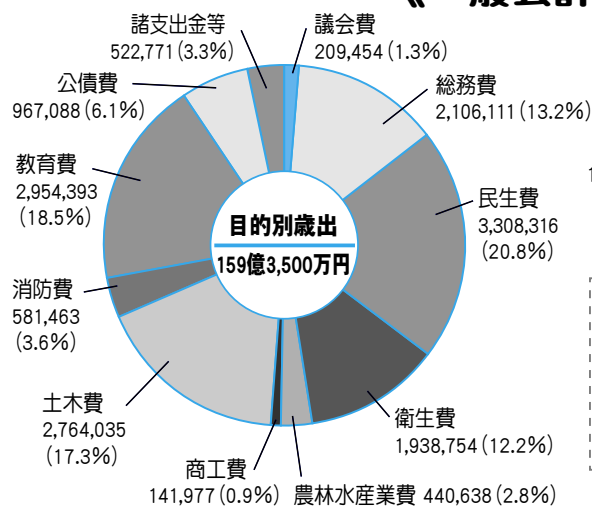
その他の内訳	
利子割交付金	18,000
配当割交付金	16,000
株式等譲渡所得割交付金	22,000
地方消費税交付金	374,000
自動車取得税交付金	68,000
地方特例交付金	39,000
地方交付税	3,000
交通安全対策特別交付金	7,500
財産収入	9,677
寄附金	1
繰入金	34,045
繰越金	200,000
諸収入	129,360
合計	920,583



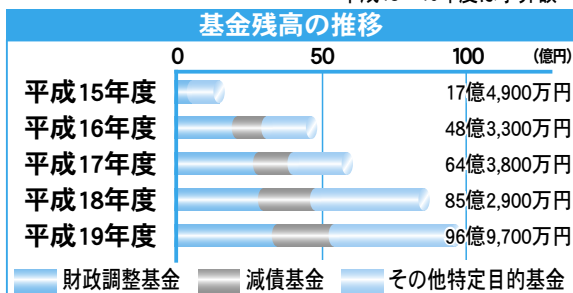
村税その他の内訳	
軽自動車税	51,924
村たばこ税	205,326
入湯税	2,071
都市計画税	739,700
合計	999,021

《一般会計予算(歳出)》

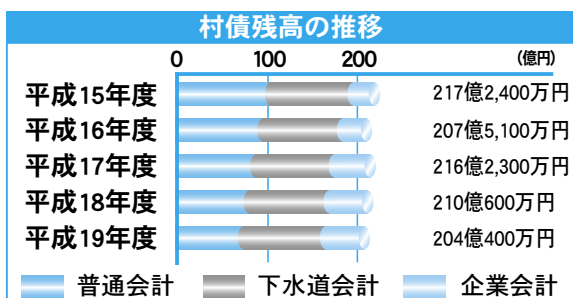
(単位：千円)



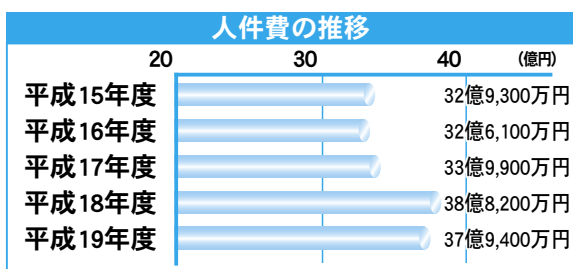
《過去5年間の推移》※平成15から17年度は決算額、平成18・19年度は予算額



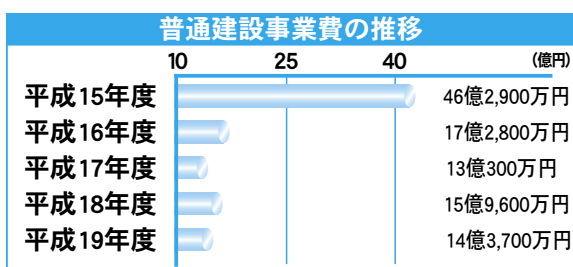
基金は、一般家庭では貯金に当たります。財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整し、減債基金は、村債償還の財源を確保する基金です。その他特定目的基金は、公立学校施設整備基金や緑化基金など、現在10の基金を設置しています。



下水道会計は横ばい、企業会計は新東海病院建設のために平成17年度に上昇していますが、普通会計は、借入をおこなっている村債の償還が一部終了していることなどにより年々減少しています。



人件費は、人事院勧告による給与の改定や退職者の増減により、年度間に増減が生じています。集中改革プランに基づき、人件費の抑制に努めていきます。



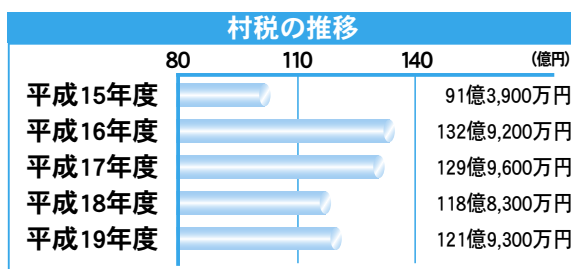
普通建設事業費は、道路や学校等、公共施設の新増設等に要する経費です。平成15年度の事業費が高いのは、石神小学校や総合福祉センターの新築工事によるものです。一般会計のほか下水道事業会計などの特別会計でも建設事業を行っています。

【※1】普通会計：全国各地公共団体と比較できるように、一定の基準で会計を区分しなおした会計。

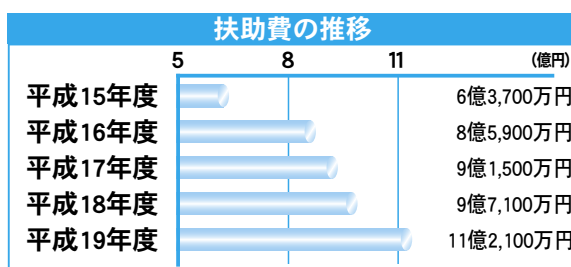
【※2】集中改革プラン：可能な限り目標の数値化や住民に分かりやすい指標を用いて、行政改革を集中的に実施するための計画(平成17年度から22年度まで)。

一般会計の解説

主な歳入は、村税が121億9,313万円で、対前年度比2.6%、3億900万円の増です。これは税制改正による定率減税全廃や所得譲与税廃止に伴う村民税の増を見込んだためです。地方譲与税は1億7,808万円で対前年度比58.7%、2億5,357万円の減を見込みました。これは国が進める三位一体の改革により、平成18年度をもって所得譲与税が廃止となったためです。村債については村松小学校の校舎屋上防水工事や、東海南中学校の体育館便所改修工事等に伴い、2億8,250万円を見込みましたが、対前年度比では12.9%、4,200万円の減となりました。一方、主な歳出では、民生費が33億832万円で、対前年度比9.6%、2億9,100万円の増を見込んでいます。これは、0歳児から3歳児未満までの乳幼児加算制度が創設されたことに伴う児童手当の増などによるものです。衛生費は19億3,875万円で、清掃センター内の施設更新工事やごみ袋指定開始に伴い、対前年度比3.8%、7,081万円の増を見込んでいます。また、公債費は9億6,709万円で、既に借入を行っている地方債の償還が一部終了したことにより、対前年度比18.0%、2億1,158万円の減を見込んでいます。



村税とは、村民税、固定資産税、都市計画税など村民や村内の企業から徴収する税です。平成16年度に伸びているのは、固定資産税の増収によるものです。



扶助費は、社会保障制度の一環として支出される経費です。児童福祉法、老人福祉法などの法令に基づくものや、村独自の施策により支出するもので、児童手当や医療福祉、障がい者への助成などが挙げられ、福祉施策の充実などにより年々増加しています。

平成19年度の主な新規事業

平成19年度の主な新規事業をお知らせします。

総務関係

- 公開講座開催事業(84万5千円)：「高度科学研究文化都市構想」に基づき「多元的な文化教育環境の整備」、「科学技術と文化教育の融合」を推進するための取り組みの一つとして、原子力をテーマとした公開講座を茨城大学との共催により、村内で開催します。

- 産学官連携事業(54万7千円)：「多元的な文化教育環境の整備」を推進するための取り組みの一つとして、村内への大学院キャンパス(東京大学大学院、茨城大学大学院、高エネルギー加速器研究機構、茨城県産学官連携施設、村のインフォメーションセンターを併設)の設置を茨城県との連携の下で進めます。

- 自治基本条例策定事業(208万円)：まちづくりの基本方針や実現を図るための自治の仕組み等を定めることを目的として条例案の策定に取り組みます。

- 村民相談諸費(155万3千円)：村民相談室を設け、住民相談、若者の就労支援・男女共同参画に関する相談に取り組みます。

福祉関係

- (仮称)地域包括支援センター管理事業(1710万円)：平成19年7月に開館する予定の(仮称)地域包括支援センターの維持管理を行います。

- 地域生活支援事業(3832万3千円)：平成

- 18年4月に施行された障害者自立支援法において市町村必須事業として位置付けられた、①相談事業②コミュニケーション事業③日常生活用具給付事業④移動支援事業⑤地域活動支援センター強化事業⑥訪問入浴サービス事業⑦更生訓練費給付事業⑧日中一時支援事業⑨社会参加促進事業——などを行います。

- 障害福祉サービス事業(2億2123万2千円)：障がい者が、その能力や適性に応じ、地域で自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、自立支援のための必要な障害福祉サービスの給付、障害者センターでの児童デイサービス、生活介護・自立訓練支援ならびに障害福祉センターサービス使用料負担金および食費助成を行います。

- 肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業(320万円)：肺炎の罹患、重症化を予防するため、肺炎球菌ワクチンを接種した村内在住の70歳以上の方に対し、接種費用の2分の1かつ4千円を限度として助成します。

教育関係

- マイスクール推進事業(240万円)：各小・中学校ごとに企画提案型事業を実施し、特色ある教育活動と地域との連携を強化した教育活動を推進します。

- 発達支援教室運営事業(484万3千円)：村内在住の情緒・言語障がいを持つ幼児・児童などを対象に、養育指導などの教育的な支援を行うとともに、その保護者には継続的な援助・助言をすることで、より良い発達への支

援を図ります。

- 白方小学校建設事業(1億7165万1千円)：教育環境の整備充実を図るため、老朽化した校舎等の移転新築を行います。

- 照沼小学校建設計画検討委員会運営事業(77万2千円)：老朽化した照沼小学校の現状を把握し、社会変化を視野に入れながら将来にわたって愛される小学校とは何かを考え、設計者に依頼するに当たっての計画方針のアウトラインを検討するため、委員会等を開催します。

- 預かり保育事業(69万5千円)：保護者から教育時間の終了後も預かり保育を行ってほしいとの要望が高まってきたことを受け、各幼稚園にて、希望する在園児を対象に通常の教育時間終了後、午後5時まで預かり保育を行います(保育料300円/人)。

- 文化保存・自然保護活動支援補助事業(50万円)：文化団体等が主体となって実施する文化および自然の保存・保護活動に要する経費に対し、予算の範囲内で補助します。

- 総合型地域スポーツクラブ補助事業(200万円)：青少年の健全育成・競技力向上や地域スポーツの普及振興に寄与するため、文部科学省によって策定された「スポーツ振興基本計画」により立ち上げられた東海村総合型地域スポーツクラブが行う総合型地域クラブの設立準備経費および事業費の一部を200万円を限度として補助します。

環境関係

財政用語の解説

- ◇**一般会計**…村民税や固定資産税など、皆さんが納めたお金を財源として、福祉や環境衛生、教育、道路建設などの事業を行う中心的な会計。
- ◇**特別会計**…特定の事業を行う場合に、一般会計と区分して経理するための会計。
- ◇**国庫支出金**…村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。
- ◇**県支出金**…村が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金。
- ◇**繰越金**…前年度から繰り越されたお金。
- ◇**繰入金**…基金や特別会計からの受け入れ金。
- ◇**村債**…国や民間金融機関などから借り入れたお金(借金)。
- ◇**地方譲与税**…一度、国税として徴収され、その後、国から村に一定の基準で譲与されるお金。
- ◇**地方消費税交付金**…皆さんが納めた消費税のうち、県から交付されるお金。
- ◇**地方特例交付金**…児童手当の拡充などにより、財源不足を補てんするために、国から交付されるお金。
- ◇**議会費**…議会運営に使われるお金。
- ◇**総務費**…一般的な管理事務や財政・財産管理、選挙などに使われるお金。
- ◇**民生費**…福祉、医療などに使われるお金。
- ◇**衛生費**…保健衛生、環境衛生、ごみ、し尿処理などに使われるお金。
- ◇**土木費**…道路、公園の整備などに使われるお金。
- ◇**消防費**…火災・水害予防や消化・救急救助活動などに使われるお金。
- ◇**教育費**…小・中学校、幼稚園、社会教育などに使われるお金。
- ◇**公債費**…村が借り入れた村債(借金)の元金や利子の償還に使われるお金。

●**多様な就農者育成補助事業**(165万円)：地産地消の推進を図るため、定年帰農者、新規就農予定者、女性農業者、直販所出荷者等を対象に、野菜等の栽培技術を指導するJ Aひ

●**浸水対策等工事費補助事業**(1千円)：罹災した方に対し、費用の軽減化を図るため、住宅の浸水被害を防止する浸水対策等工事に要した費用の4分の3以内で300万円を限度として補助します。なお、事業費については、その都度必要な額を予算措置します。

●**雨水排水対策事業**(1000万円)：既存の排水

●**農産物加工品開発推進補助事業**(150万円)：本村農産物の消費拡大と農業所得の向上を図るため、特産品を開発・販売する方に対し、その経費の一部として年間50万円かつ3か年を限度として補助します。

●**安全・安心な特別栽培認証事業**(67万円)：本村農産物の情報提供とイメージアップ、それによる農家の収益増加を目的として、有機栽培・特別栽培による農産物に村独自の認証を行う制度の構築に取り組みます。

●**安全・安心な特別栽培認証事業**(67万円)：本村農産物の情報提供とイメージアップ、それによる農家の収益増加を目的として、有機栽培・特別栽培による農産物に村独自の認証を行う制度の構築に取り組みます。

農業関係

●**ごみ袋指定推進事業**(4446万円)：①ごみ分別の徹底による可燃ごみ・不燃ごみの減量
②ごみ分別・資源化などの意識向上③袋指定による環境美化の向上④袋の色分けによる資源物や危険物等の混入防止——を目的にごみ袋を指定します。

●**安全・安心な農産物栽培奨励補助事業**(400万円)：村内に住所を有し、村内の畑において、村が指定する野菜(かぼちゃ、ねぎ、なす等)を栽培し、県が認証する「茨城県特別栽培農産物認証制度」の認証、または有機JAS制度による有機農産物の認証を受けた方に対し、10アール当たり4万円を補助します。

●**オープンガーデン推奨事業**(21万7千円)：「多元的な文化教育環境の整備」を推進するための取り組みの一つとして、オープンガーデンに関する講演会や、ガーデンニング愛好者のネットワーキングづくり、オープンガーデンの実施などを行います。



4月1日から

組織機構を見直しました

～企画総務部、福祉部、建設水道部を大幅に改編！～

村では、「村民ニーズに即応できる簡素で効率的な行政システム」の確立を目指し、そのときどきにふさわしい行政機構の改革や、運営方法の改善に取り組んできました。しかし、少子・高齢化の進展など社会情勢の変化、住民意識の多様化、国の制度改正等に柔軟に対応するためには、より機能的な組織づくりが必要です。

そこで、各部の全般にわたる業務を洗い出し、相互の関連性や従来の組織での問題点を抽出した上で、4月から、大幅な組織機構の見直しを行いました。なお、見直しに当たっては、部や課の数が増えないよう配慮するとともに、これまでの「係制」から「担当制」への移行も同時に行いました。新しい組織機構図については、下図をご覧ください。

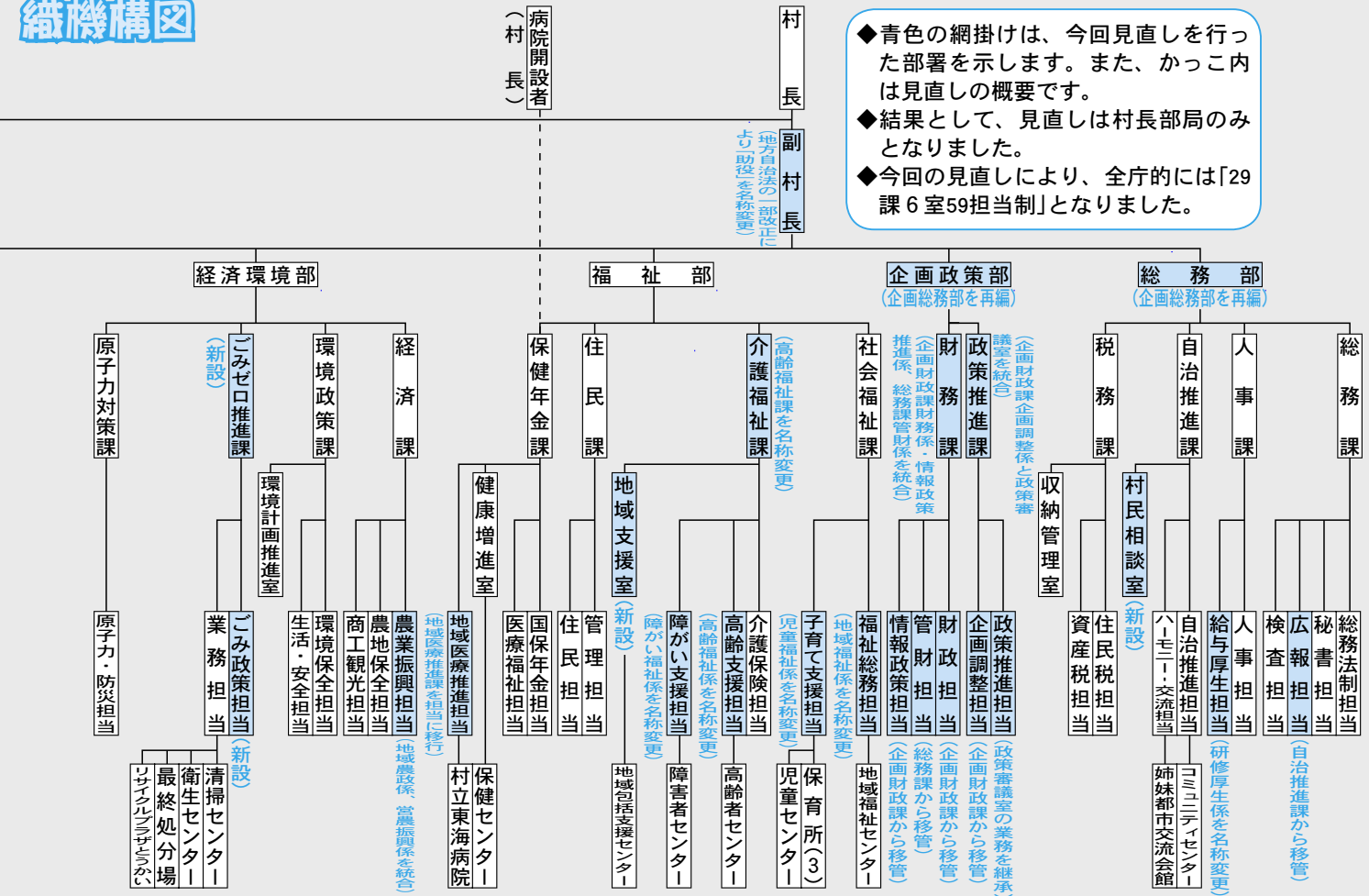
組織機構の見直しに伴い、これまでと場所が変更になった課室がありますので、来庁の際は、庁舎玄関やエレベーター前などに設置されている配置図で確認をお願いします。なお、不明な点については、役場行政棟1階の総合案内、または役場職員にお気軽にお尋ねください。

組織機構図

◆青色の網掛けは、今回見直しを行った部署を示します。また、かっこ内は見直しの概要です。

◆結果として、見直しは村長部局のみとなりました。

◆今回の見直しにより、全庁的には「29課6室59担当制」となりました。



組織機構見直しのポイント

「企画総務部」と「政策審議室」の見直し

◇業務量が増大していた「企画総務部」と「政策審議室」を一体として見直し、「総務部」と「企画政策部」に分離するとともに、おののおを強化しました。なお、筆頭部は「総務部」となります。

◇ノートやフリーターに対する就労相談、セクシユアルハラスメントやDV(ドメスティックバイオレンス)などの相談を主な業務とする「村民相談室」を新設しました。

「福祉部」の見直し

◇「高齢福祉課」を「介護福祉課」に名称変更するとともに、これまで「社会福祉課」で所管していた障がい者支援業務を一体として所管することとしました。

◇平成19年7月ごろに、旧東海病院が「地域包括支援センター」および「地域生活支援センター」として開所することから、これらの業務を円滑に推進するため、「地域支援室」を設置しました。

◇「地域医療推進課」を一担当とし、福祉部保健年金課内に配置しました。

「経済環境部」の見直し

◇ごみの減量化、資源化、再利用を政策的に推進するため、「ごみゼロ推進課」を新設しました。

「建設水道部」の見直し

◇「都市計画課」を「都市政策課」に名称変更し、建設水道部内の筆頭課、まちづくりの司令塔として強化しました。また、都市政策課内には「都市施策推進室」を、都市施策推進室内には緑化政策を担う「緑化推進担当」を新設しました。

◇「建設課」を「道路整備課」に名称変更し、道路の整備・管理体制の一元化を図りました。

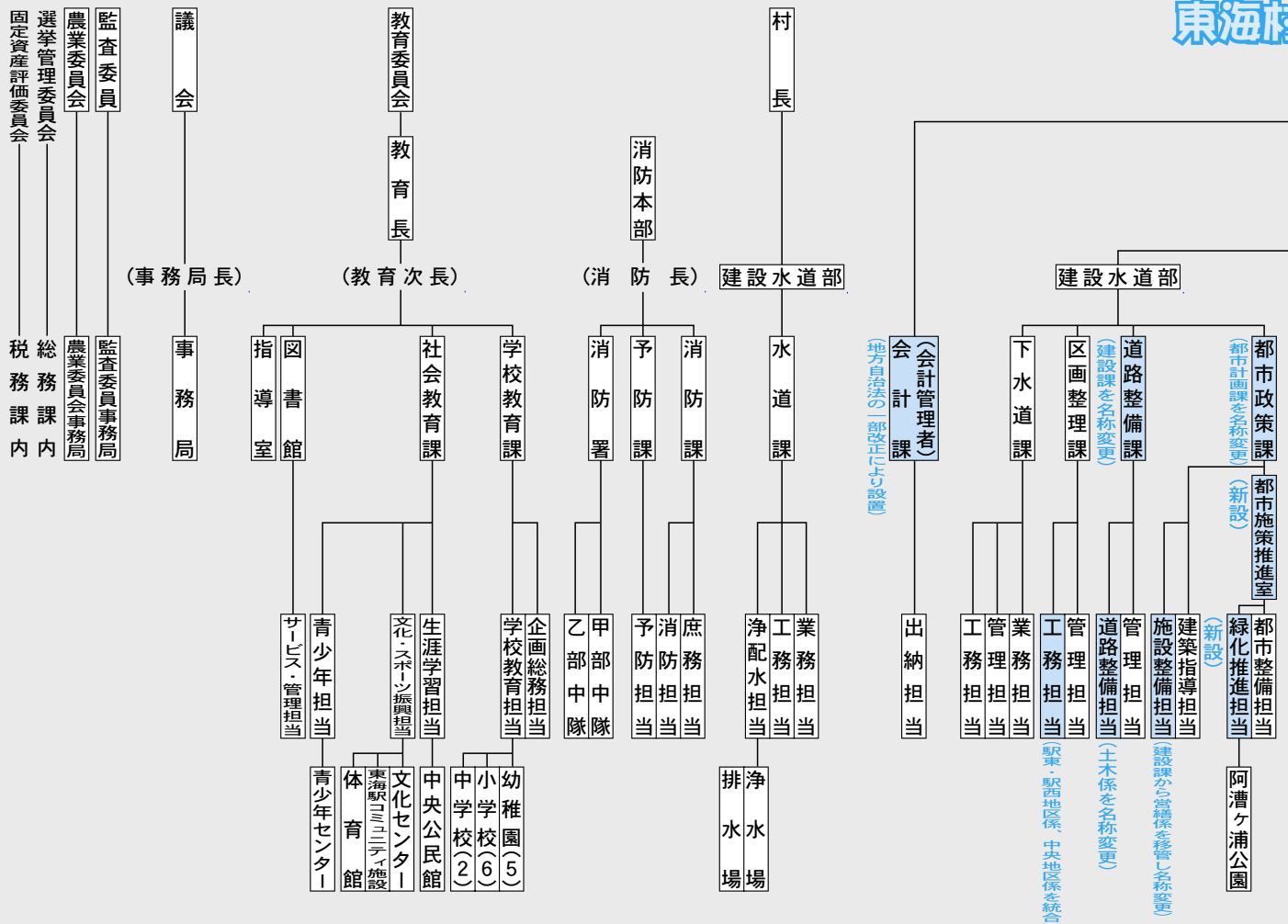
「係制」から「担当制」への移行

◇縦割りの弊害を除去し、業務量や困難度に応じた機動的で柔軟な職員配置を行うための新たな仕組みとして、「担当制」を導入しました。

問合せ

企画政策部政策推進課政策推進担当 ☎282局1711 内線1331

東海村組





病院への上手なかかり方(その19)

村立東海病院院長 大場義幸

専門医の診断や治療の後に、東海病院を受診する患者さまに多い傾向です。

■専門医療とプライマリケア

先日、首のリンパ節が腫れたため、がんが心配で大きな病院に行き、3時間も待って受診しましたが、「何でもないよ」と短い診療時間で終わってしまい、それでも心配だという患者さまが当院に再度来院しました。診察した結果は、やはり腫れはなく、心配はありませんでした。友人に「がんかもしれない」「友達で乳がんの人がいた」などと言われたことが心配のもとであったようです。ちなみに、乳がんの初期で、頸部のリンパ節に転移することは少なく、周りの人がその患者さまの体のことを考えると同時に、本人の気持ちをもう少し考えていただければよかったと思います。



この患者さまには、病気の説明のほかに、リンパ節の腫れを自分で見るときのコツや考え方を説明しました。専門医は、疾患の検索や追及を行います^(※1)が、プライマリケア医は初期診断、患者背景を考えた疾患の説明、セルフケアの仕方なども説明することが主となります。すぐに大きな病院で受診する前に、かかりつけ医などの近医を受診することも一つの方法です。

《用語解説》

(※1)…プライマリケアとは、医療機関などによる健康維持や予防医学の面から日常的に健康管理するもので、普段よくある病気を扱い、これにいつでも対応できる医療サービスのことです。個人や家族の健康を持続的に管理し、必要がある場合は専門医に紹介します。また、医師・薬剤師・栄養士などのチームで地域保健・医療を行うことをプライマリヘルスケアといます。

(※2)…セルフケアとは、自分自身で健康・疾患を管理することで、健康は自分で守るということです。正しい知識を持つこと、食事への配慮、医療の現状把握などが必要です。

◆問 合 せ 福祉部保健年金課地域医療推進担当(☎287-0899 電子メールtiiki-is@vill.tokai.ibaraki.jp)

傍

聴

席

傍聴者数

89人

平成19年第1回東海村議会定例会が、3月1日から23日までの会期で行われました。その主な内容は、次のとおりです。

村長提出議案

①東海村副村長定数条例など条例関連15件、②平成19年度東海村一般会計予算など予算関連22件、③字の区域及び名称の変更についてなどその他13件、計50件が上程され、すべて可決されました。

委員会報告

①議員の定数を2名減とする報告(議員定数調査特別委員会)②平成19年度予算議案計12件を可決とする報告(予算委員会)③地産地消自治体宣言を求める請願は不採択とする報告(建設経済環境委員会)——など計13件は、委員長報告のとおりとなりました。

議員提出議案

①議員定数条例の現在人数22人を20人とする議員定数条例の一部を改正する条例は可決され、次の一般選挙から施行されます。②電力会社のデータ改ざん及び隠ぺいに関する意見書を国に提出する提案は、原子力問題調査特別委員会に付託されました。③地方自治法改正に伴う、議会に関連する条例・規則の改正3件は、可決されました。

問 合 せ

議会事務局(☎282局1711 内線1281)

筋力トレーニング教室に参加してみませんか？

■問合せ 保健センター(☎282-2797)

村では、生活習慣病や身体機能の改善、寝たきり予防を目的として『筋力トレーニング教室』(3か月間)を総合福祉センター「絆」の筋力トレーニング室で開催しています。

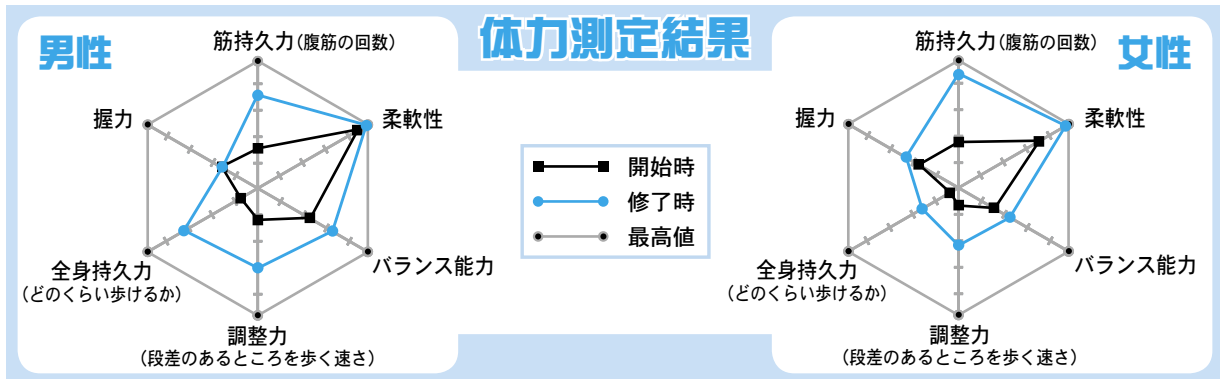
平成16年4月にこの教室を開始して以来、約200人の参加者が修了しています。

●筋力トレーニングの効果

教室では、筋力トレーニングによって筋力がどのように変化するかを知るため、茨城大学などの協力を得て、教室の最初と最後に体力測定を実施しています。体力測定結果表をご覧ください。

ださい。参加者の平均値を男女別に表したものです。どちらも、筋持久力(腹筋の回数)、全身持久力(どのくらい歩けるか)、調整力(段差のあるところを歩く速さ)で改善効果が顕著に表れており、実際にこれまでの教室修了時の参加者のアンケートにも、「布団から起き上がるのが楽になった」「少しの段差につまづかなくなった」などと書かれている方が見受けられます。

自宅で適切な運動を継続的に行うことは簡単ではありません。皆さんも、筋力トレーニング教室に参加してみませんか？



平成19年度前期筋力トレーニング教室参加者募集

らくらく筋トレ教室

- 期 日 5月8日から7月31日までの毎週火・金曜日(全25回)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 対 象 村内在住の65歳以上の方
- 内 容 身体機能の維持・向上を目的としたもので、体力チェック、ストレッチ、筋トレ、音楽に合わせた体操などを行います。

メタボリックシンドローム予防の筋トレ教室

- 期 日 5月8日から7月31日までの毎週火・金曜日(全25回)
- 時 間 午前9時30分～11時30分
- 対 象 村内在住の40歳以上65歳未満の方で、医師などから運動を勧められている方
- 内 容 生活習慣病の予防・改善を目的とし

たもので、体力チェック、ストレッチ、筋トレ、有酸素運動、バランスボールなどを行います。

場 所

総合福祉センター「絆」の筋力トレーニング室

定 員

各15人 ※応募者多数の場合は抽選となりますが、初めての方を優先します。

参加費

各7,500円(全25回分)

そ の 他

4月27日(金)の午後1時30分から、医師による参加判定を含めた説明会を行います。

申し込み

4月18日(水)までに、保健センター(☎282-2797)へ申し込みください。



「原子力広報・防災マップ」は届きましたか？

村では、航空写真を用いて村内の公共機関(避難所等)や原子力施設の場所、原子力や放射線に関する基本的な内容をまとめた「原子力広報・防災マップ」を作成し、3月中旬ごろに村内各戸に配布しました。もし、お手元に届いていないときは、役場総合案内(役場行政棟1階)で無料配布していますので、どうぞお持ち帰りください。

●問合せ 経済環境部原子力対策課原子力・防災担当(☎282-1711 内線1520)



●見て、触れて、参加する“環境フェスタ”

2月24日、「とうかい環境フェスタ」が、住民に環境意識を高めてもらうことを目的に、とうかい環境フォーラム実行委員会(久保田昌宏委員長)主催により総合体育館で開催されました。「世界がもし100人の村だったら」の著者・池田香代子さん(作家)を講師に招いて、「食卓から地球へ平和な世界へ」と題した基調講演により開幕。会場は、環境ポスターの展示のほか、ケナフを原料にした紙すき体験や自転車による発電体験などを楽しむ来場者で大にぎわい。それぞれ、環境に優しい取り組みに親しんでいたようです。



●“いつでも、どこでも、誰とでも”スポーツクラブ設立!

2月25日、「東海村総合型地域スポーツクラブ設立総会」がテクノ交流館リコッティで行われ、「東海村総合型地域スポーツクラブスマイル東海」が設立しました。これは、“いつでも、どこでも、誰とでも”^{しんぼく}を合言葉に、スポーツを楽しむ、健康・体力の維持増進や親睦を図ることを目的に設立されたもの。クラブのシンボルマーク発表などに続いて行われた講演では、日本体育協会総合型地域スポーツクラブ中央企画員の松澤淳子さんが、「クラブをつくる過程が地域づくりや人づくりになる」とその役割の大きさを話しました。

●大切なのは“冷静な判断力”

2月28日、「第1回東海村ボランティア市民活動セミナー」が東海文化センターで行われました。今回は、読売テレビ解説委員として活躍している辛坊治郎さんを講師に迎え、「人権を侵害しないために～情報の正しい選び方～」と題した講演を実施。辛坊さんは、阪神大震災の取材・報道の裏話や人間の心理の面白さについてなど、さまざまなエピソードをユーモアたっぷりに披露しつつ、「正しい情報を選択するためには、情報の発信源を確認し、冷静に判断することが大切」と語り、約750人の来場者を魅了していました。



●皆さんの健康増進のために

2月19日、「平成18年度県民健康づくり表彰式」が茨城県庁で行われ、坏優子さん(白方中央在住)が「茨城県知事賞」を、渡辺美代子さん(舟石川在住)が「茨城県保健福祉部長賞」を、本多真知子さん(村松在住)が「茨城県食生活改善推進団体連絡協議会長賞」を受賞しました。この賞は、食生活改善推進員として、長年、地域の健康づくりに寄与したことが認められたもの。3人は、「今後も楽しみながら活動を続けていきたい。この活動が、村民の皆さんの健康増進に役立てばうれしいですね」と笑顔で話してくれました。



左から渡辺さん、村上村長、坏さん、本多さん

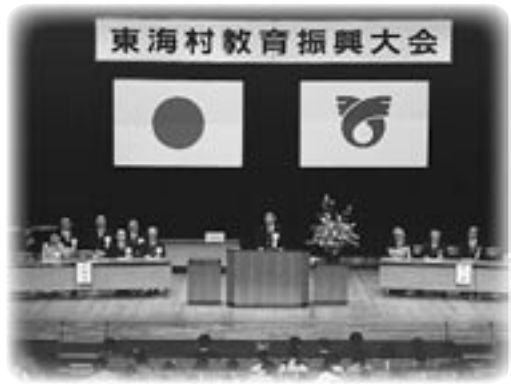


●新たな人生のスタートを祝う還暦祭

2月24日、東海中学校の昭和38年卒業生による還暦祭が村松の大神宮で行われました。これは、60歳を元気に迎えたことや第2の人生のスタートを祝おうと、還暦祭実行委員会(川崎和典実行委員長)の主催により行われたもの。約70人が参加した還暦祭の儀では、各クラス代表男女1人ずつからの玉串奉天や、神主から祝詞奏上が行われました。式典後、懐かしい顔ぶれに話も弾んでいた参加者の1人は、「還暦を迎えたという実感はない。皆さん若いし、気持ちが中学生のころに戻りますね」と話してくれました。

●「親の愛情」、「工夫すること」、「褒めること」

2月16日、「東海村教育振興大会」が東海文化センターで行われました。これは、学校教育および社会教育に献身的な努力と多大な功績を挙げた方々に感謝の意を表し、教育文化の向上発展を図ることを目的としたもの。式典では、90人および9団体が表彰状を、6人および2団体が感謝状を、6人が褒状を受賞。続いて行われた「親力で決まる子どもの将来」と題した講演では、教育評論家の親野智可等さんによる「子育ては『親の愛情』『工夫すること』『褒めること』が大事」との話に、多くの来場者が賛同していました。



文芸とうかい

【俳句】

陽を浴びて水辺に咲けるザゼン草

豊白 中島エミ子

蠟梅の一山華やぎ香る風

東海 佐藤 とよ

広すぎる四十丈に春の風

舟石川 舛井 愛子

折鶴に早春の息吹きこめり

白方中央 柴田 一声

夜桜を友と眺むるひとときや

船場 島中 睦子

春山に春蘭見つけ腰かがむ

外宿 西山 純一

遠き日の火ともし頃の花の宴

南台 渋谷ひろし

巡り来て又あの花を見に行かぬ

村松 松本 正勝

街の灯も星座にとけし筑波稜

白方中央 根本 武

冬鳥の去りて一陣涅槃西風

白方中央 根本 怜子

大地より春の芽ぶきか躍動美

豊白 森永ひろ子

【短歌】

ハモニカの講習修めて友と乗る夜汽車に語らい
時を忘るる
村松 高橋 正弘

指導者からのメッセージ

少年育成
主 身体験記
PART. 85



オール東海ジュニアの指導者として
オール東海ジュニア指導者
白方 西野 正彦

私が所属する「オール東海ジュニア」は、創設から3年が過ぎ、小学1年生から6年生まで総勢70人を超える大所帯となり、3グループ（1・2年生、3・4年生、5・6年生）に分かれ、監督、スタッフ、コーチ陣、また、父母会と連携協力の下、子どもたちが野球に打ち込める活動を進めています。平成18年度においては、地区予選を勝ち抜いて学童野球茨城県大会へ出場、水戸市近隣学童野球大会では、関東チャンピオンである「荖崎ファイターズ」に勝利、また、各地区のほとんどの大会でブロック優勝をするなど、子どもたちの頑張りにより、新たな歴史の一ページがつけられました。私は息子の入団とほぼ同時期に、コーチ

としてかわるようになりました。野球は、「打つ」「投げる」「守る」「走る」ことをメインに、またそれらが多種多様な状況において、適切な対応を予測しながら行い、なおかつ、ルールも複雑なスポーツであると思います。それらをどのように子どもたちへ伝え、理解してもらうか、最初はかなり戸惑いを覚え苦慮しました。ある時、真剣なまなざしで白球を追っている子どもたちの表情を見て、純粹に野球が好きなのだと感じたので、まず、野球の楽しさを知ってもらえれば必然的に興味がわき、自らもつと楽しみたい（知りたい）という意識が芽生え、自主的に行動するのではないかと思いました。要するに、主役（プレーヤー）である子どもたち自身の、野球（練習）に対する意識を変えることを第一に考えました。一方で、「教える」から「知ってもらおう」と、私自身の意識を変えるときにも、常に子どもと視線で接するように心掛けました。それが正解かどうか分かりませんが、今後も模索することが続くと思いますが、少なくとも良い方向には進んでいるものと信じています。新たな歴史を築き上げた主体の6年生たちは卒団し、次の代の子どもたちがその伝統を受け継ぎます。さらなる飛躍を期待しながら、子どもたちとともに歩んでいこうと思います。

相手の眼なりきることは難しき齡重ねど未熟なり我

東海 片野 紀夫

亡き母の年となりたるいまの吾母のおもいの俤ばれて悔ゆ

船場 村上より子

初孫の梅の記念樹丈伸びてわが庭隅に白く咲きたり

南台 根本内俊男

暖冬といふこの年にいささかの青菜の類ほどよく育つ

村松北 黒澤 孝子

梅や桃患者さんよりいただきて妻の作りし花瓶に生けり

舟石川 工藤和一郎

皆様に贈られて楽し鉢植ゑの開花したれば水やり楽し

船場 中井川しげ

暖冬に数多つぼみの沈丁花花咲き初めて吾を和ます

船場 舛井庫之助

春の山薄雲仰ぐダムサイトつり舟ひとつ風に揺られる

内宿 村上 文江

軽ろき麻痺りハビリ兼ねて炊事せり包丁持つ手に伝はるよろこび

外宿 高槌 すみ

ふしくれてみずから割れし我が手見つ日記閉じたる今日も幸せ

緑ヶ丘 佐藤 正

この朝の冷ゆるわが庭黄の色に山茱萸の花はかたより明し

村松 桜井 秀子

街角で偶然出会う同級生自転車止めてしばし語らう

外宿 小林美代子

田仕事にいでし春の日わが近く鶯の声しばらく聞ゆ

舟石川 小川志つ江

【川柳】

曲おわり何をボソボソ演歌歌手

白方中央 関口 満

エッセー頑張る

今どきの
青少年
VOL. 95



東海村吹奏楽団に参加して

日立第一高等学校1年

船場 小泉 裕加

毎週木曜日の夜、私はオーボエと楽譜を持って東海文化センターへと足を運んでいます。東海村吹奏楽団の一員として――。

楽譜さえ読めなかった私が、単なる好奇心から吹奏楽を始めて5年目の中1の冬に、「もっと多くの人と演奏してみたい」という思いから、私はこの楽団に入団しました。ところが、いざ入団してみると周りはほとんど大人で、その緊張感や慣れない環境のせいか、私はいつしか初心を忘れ「自分ができるばいばい」と、心の隅で思っていました。しかし、団員の皆さんが協力して楽器を運搬したり、世代を超えて互いに教え合う姿を見てみると、団員一人一人の「協力してこの活動をより良くしたい」とい

う思いが伝わってくるようで、私は「自分だけ」と考えた自分自身を恥ずかしく思いました。「この活動は誰かがつくってくれるものじゃない。団員たちでつくり上げていくものなんだ」とあらためて感じた日から、私も「大人に甘えずにできることから積極的に協力していこう」と決めました。

その日から約1年半後、私は昨年、初めて受験生になりました。それに加え、楽団では2007年3月に第1回の演奏会を開くことが決まり、私を含めた受験生の団員は練習と勉強を両立させることが大変でした。テストの前日が毎週木曜日で、「練習に行けない。皆に迷惑を掛けてしまう」と、私は申し訳なさと焦りを感じましたが、常任指揮者の原先生や団員の皆さんから、「頑張れ！」と励ましの言葉をいただきました。受験が終わった今、私は、団員の皆さんや、初めて受験生の娘を持って心配しただろうに楽団への参加を認めてくれた両親に本当に感謝しています。また、今の自分にできること、オーボエの奏者としての責任を果たすことなど、さまざまなことに積極的に取り組んでいます。

楽団に入ってもうすぐ2年半。私は東海村吹奏楽団に参加できて良かったと思います。今後も良い演奏ができるように努力していきたいです。

写団合同展



5月6日(日)～12日(土)

ひたちなか市の「フォト・佐野」「柏野写楽会」「津田写真クラブ」が毎年合同で開催している展覧会で、今年で4回目を迎えます。撮影会や勉強会で知識を学び、感性を磨いて撮りためた作品を厳選して展示しますので、ぜひご来場ください。(最終日の開館は午後2時まで)

STATION GALLERY
■問合せ ☎287局3680

新人作家の育成と3大学の学生の交流を目的に、平成18年度の卒業修了制作作品の中から、油画・日本画・彫刻・工芸・書の力作10点を展示します。ジャンルや大学の枠を超え、学生の豊かな感性と巧みな技術が競演します。(最終日の開館は午後2時まで)

4月15日(日)～28日(土)



芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展

「鹹水槽剥ぎ取り標本」を設置しました

村松白根遺跡の調査の際に、高エネルギー加速器研究機構にて作製された「鹹水槽の断面剥ぎ取り標本」(写真)が、村松コミュニティセンターに展示されています。村松白根遺跡からは、釜屋や鹹水槽などが検出されており、塩作りの遺跡であることが分かっています。鹹水槽とは、濃い塩水をためておく水槽で、塩水が漏れないように粘土と黒土を張り付けて造られていました。粘土には灰や炭化物、貝殻の破片が混ぜられています。その様子は、標本でも観察することができますので、ぜひご覧ください。



問合せ 教育委員会社会教育課文化・スポーツ振興担当(☎282-1711 内線1423)

まちの交通問題について 考えてみませんか

茨城県では、県北地域(日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、東海村)の目指すべき都市像とその実現に向けての交通施策について、県北臨海都市圏都市交通戦略策定調査委員会を設置し、検討を進めています。委員会において、将来の交通計画の素案をまとめましたので、閲覧を行い、皆さんからの意見を募集します。

▽閲覧期間 4月12日(木)～5月2日(水)

※土・日曜日、祝日を除きます。

▽閲覧時間 午前8時30分～午後5時15分

▽閲覧場所 建設水道部都市政策課(役場行政棟2階) ※茨城県都市計画課ホームページ

▶(http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/

doboku/01class/class09)でも閲覧することができます。

▽申し込み・問合せ 5月2日(水)まで(必着)に、住所・氏名・年齢・職業を明記の上、はがき、封書、ファクシミリまたは電子メールで、県北臨海都市圏都市交通戦略策定調査委員会事務局(茨城県土木部都市局都市計画課内 〒310-8555

水戸市笠原町978-6 ☎301局4588

FAX 301局4599 電子メール toshikei-

shigaichi@pref.ibaraki.lg.jp)へ申し込みください。

だれぞ。

図書館トピックス

子ども読書週間

4月23日(月)から5月12日(土)は「子ども読書週間」です。子どもたちが本に親しむことで、読書の楽しみや喜びを感じてもらうことを目的に定められました。今年の標語は「いっしょに読もうか」です。「子ども読書週間」期間中、より一層本に親しんでいただけるような行事を行いますので、お問い合わせの上、ご来館ください。



DVD上映会

- ▼期 日 4月28日(土)
- ▼時 間 午前10時~11時
- ▼内 容 「ねごさかな」「ちいさなきいらいかさ」

- ▼場 所 館内2階研修室
- ▼対 象 幼児および児童とその保護者

新しい雑誌が入りました

4月から図書館およびコミュニティセンターに新しく入った雑誌を紹介します。※カッコ内はジャンルを表記しています。

▼図書館

- 「美しい部屋」(隔月刊・ライフスタイル)
- 「NHK趣味の園芸」(月刊・園芸)
- 「天然生活」(月刊・ライフスタイル)
- 「ミセス」(月刊・ファッション)

- 「和楽」(月刊・ライフスタイル)
- 「NEWS WEEK(日本語版)」(週刊・政治経済)

▼石神コミュニティセンター

- 「毎日ライフ」(月刊・健康)

▼村松コミュニティセンター

- 「STORY」(月刊・ファッション)

- 「PLUSリビング」(隔月刊・ライフスタイル)

- 「旅行読売」(月刊・旅行)

▼白方コミュニティセンター

- 「NHK趣味悠々」(不定期・ライフスタイル)

- 「ガーデン&ガーデン」(季刊・園芸)

▼真崎コミュニティセンター

- 「3分クッキング」(月刊・料理)

▼中丸コミュニティセンター

- 「百楽」(月刊・ライフスタイル)

- 「リラックスじゃらん」(月刊・旅行)

「たんぼぼの会」によるおはなし会

- 期 日 毎週土曜日(第5土曜日を除く)
- 時 間 午後2時~3時
- 場 所 おはなしコーナー
- 内 容 絵本の読み聞かせ、手遊びなどを行います。

休館日

- 4月16日(月)・23日(月)・27日(金)
- 29日(日)・30日(月)
- 5月3日(木)・4日(金)・5日(土)
- 7日(月)

国民年金 学生のための だより 納付特例制度



20歳以上の方であれば、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務付けられています。収入のない学生の方は、申請をして承認を受ければ在学期間中の保険料を卒業してから納めることができます。これが学生納付特例制度です。

対象となる学生

高等学校、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専修学校などに在籍する20歳以上の学生で、本人の前年の所得が118万円以下(収入が194万円程度)である方。

手続きは簡単

「国民年金保険料学生納付特例申請書」に必要事項を記入し、学生証、年金手帳などを持参の上、国民年金係へ提出してください。

その他

■学生納付特例期間中に障がいや死亡といった不慮の事故が起こった場合、障害基礎年金、または遺族基礎年金が支給されます。

■学生納付特例期間は、老齢基礎年金の計算には反映されませんが、年金の受給資格期間には算定されます。

■学生のときに納められなかった期間の保険料は、10年以内であれば社会人になってから納めることができます。

問合せ

福祉部保健年金課 国民年金担当(☎282局)
1711 内線1133

人口と世帯数

平成 19 年 3 月 1 日現在 前月比		
世帯数	13,325 世帯	+ 22
総人口	35,956 人	+ 27
男	18,062 人	+ 15
女	17,894 人	+ 12

役場の電話番号

☎ 282-1711 (代表)

4・10号/お知らせ



一緒に柔道で汗を流しませんか！ 柔道スポーツ少年団・柔道教室参加者募集

柔道スポーツ少年団

- 活動日時 ①毎週日曜日の午前9時30分から11時30分まで ②毎週水曜日の午後6時30分から7時30分まで
- 場 所 総合体育館
- 対 象 小学1年生から高校生まで

東海柔道教室

- 活動日時 ①毎週日曜日の午前9時30分から11時30分まで ②毎週水曜日の午後7時30分から9時30分まで
- 場 所 総合体育館
- 対 象 幼児から大人まで

会 費

6,000円/年

申し込み・問合せ

尾崎嗣朗さん(☎282-7056)

楽しく筋トレ！ ステップエクササイズ参加者募集

- 期 日 5月7日(月)・14日(月)、6月4日(月)・11日(月)・25(月)、7月2日(月)・9日(月)(全7回)
- 時 間 午前10時45分～11時30分
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住の20歳以上40歳未満の方(35人)
- 講 師 綿引晴子さん(エアロビクスインストラクター)
- 参加費 無料
- その他 ①申し込み者多数の場合は抽選となりますが、初めての方を優先します。②予約制の無料保育サービスがあります(30人)。
- 申し込み・問合せ 4月16日(月)までに、保健センター(☎282-2797)へ申し込みください。

募集

テニスダブルス大会参加者募集

- 日 時 5月13日(日)・20日(日)、午前9時試合開始 ※予備日…5月27日(日)
- 場 所 村テニスコート
- 対 象 村内在住・在勤の方
- 種 目 一般男子ダブルス(I・II部)、一般女子ダブルス(I・II部)、壮年男子ダブルス(昭和36年12月31日以前に生まれた方)
- 参加費 3,000円/組
- 申し込み 4月21日(土)までに、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、村テニスコートクラブハウス(☎282-8571)へ申し込みください。
- 問 合 せ 濱口和彦さん(☎287-8021)

「第18回友情の船北海道研修の旅」 参加小学生&中学生リーダー募集

参加小学生

- 期 日 7月28日(土)～8月2日(木)
- 対 象 村内在住の小学4年生から6年生まで(120人) ※初回参加の方を優先します。
- 参加費 40,000円/人
- 申し込み 5月13日(日)の午後2時から3時まで、中央公民館で受け付けます。

中学生リーダー

- 期 日 7月28日(土)～8月2日(木)
- 対 象 村内在住の中学2年生(30人)
- 参加費 20,000円/人
- 申し込み 4月19日(木)まで、青少年センターで受け付けます。

問 合 せ

青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内 ☎282-7049)

ウォーキング教室参加者募集

- 期 日 5月9日から7月11日までの毎週水曜日(全10回)
- 時 間 午前10時～11時30分
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住のおおむね65歳以上の方(先着30人) ※初参加の方を優先します。
- 参加費 1,000円/人
- 申し込み・問合せ 4月13日(金)から23日(月)までに、高齢者センター(☎282-4300)へ申し込ください。

4月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
問 合 せ	救急医療情報コントロールシステム(☎241-4199)	
期日	病医院名	電話番号
15日(日)	東海クリニック	283-1711
22日(月)	村立東海病院	282-2188
29日(日)	尾形クリニック	282-4781
30日(月)	茨城東病院	282-1151

青少年育成東海村民会議事業 「母と子のサロン」実行委員募集

青少年育成東海村民会議では、母と子(0歳児)が楽しく遊びながら、心豊かな子育てを目指すためのサポート事業「母と子のサロン」の平成19年度実行委員を募集します。

- 対 象 村内在住で、乳児と接することが好きな20歳以上のボランティアとして活動できる方
- 申し込み・問合せ 4月25日(水)までに、青少年育成東海村民会議事務局(青少年センター内 ☎282-7049)へ申し込ください。

東海まつり実行委員募集

今年行われる「第29回東海まつり」を、より一層にぎわいのある楽しい祭りにするため、新たに実行委員を募集します。あなたの手で東海まつりを大いに盛り上げてみませんか。

- 対 象 高校生以上の村内在住・在勤の方
- 申し込み・問合せ 4月30日(月)までに、東海まつり実行委員会事務局(☎283-2141)へ申し込ください。

子育て支援「ポランサー」会員募集

在園児と一緒にいろいろな遊びを体験しながら、友達と遊ぶ楽しさを知ることができます。

- 期 日 5月2日から平成20年2月13日までの毎月第1・2水曜日
- 時 間 午後1時30分～2時30分
- 場 所 チューリップ保育園
- 対 象 保育園に入園していない1歳から2歳までの幼児とその保護者(10組程度)
- 内 容 季節の行事を織り込みながら、リズム遊びや屋外遊びなどを行います。
- 申し込み・問合せ 4月16日(月)から20日(金)までの午前9時30分から正午までに、チューリップ保育園(☎282-3158)へ申し込ください。

東海村おもちゃランド前期参加者募集

歌やおもちゃで元気に遊びませんか?

- 活動日 4月から9月までの第4火曜日
- 時 間 午前10時～正午
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 村内在住のおおむね1歳半以上の幼児とその保護者(40組)
- 参加費 無料
- 申し込み・問合せ 4月16日(月)までに、社会福祉協議会(☎282-2804)へ直接申し込ください。なお、応募者多数の場合は抽選となります。

カンガルーサークル 会員募集

子どもたちの交流と保護者同士の子育ての輪を広げる、百塚保育所の育児支援「カンガルーサークル(春グループ)」が5月から始まります。

●日程等

期 日	定員
5月8日から7月3日までの毎週火曜日(全10回)	先着25組
5月10日から7月12日までの毎週木曜日(全10回)	先着25組

- 時 間 午前10時～11時15分
- 場 所 百塚保育所
- 対 象 生後6か月から1歳までの乳幼児とその保護者
- 内 容 季節に合わせ、親子で楽しく過ごします。
- 会 費 無料
- 申し込み 4月19日(木)・20日(金)の午前10時から午後3時まで(正午から午後1時までを除く)に、白方コミュニティセンター(会議室B)で受け付けます。
- 問合せ 地域子育て支援センター(百塚保育所内 ☎270-5660)

住宅用太陽光発電システムの設置費用の補助

村では、環境に優しい「住宅用太陽光発電システム」を設置する方に、補助金を交付しています。

●**対象** 村内の住宅に太陽光発電システムを設置する方(20基)

●**補助金額** 出力1キロワット当たり10万円(1基当たり最大で40万円)

●**申し込み・問合せ** 4月20日(金)までに、経済環境部環境政策課環境保全担当(内線1451)へ申し込みください。なお、応募者多数の場合は抽選となります。

地球温暖化対策イベント「廃食油で車が走る!?!」

菜種油などの廃食油で造られた、軽油に代わる燃料(BDF:バイオディーゼル燃料)で車を動かしてみます。ぜひ、ご来場ください。

●**日時** 4月22日(日) 午後1時~4時

●**場所** 白方コミュニティセンター

●**内容** ①BDFを使用したマイクロバスへの乗車やトラクターの運転 ②BDFの製造工程の展示など

●**問合せ** 岡崎英夫さん(NPO法人東海村菜の花エコプラン ☎090-9688-6449)

東海文化センターのグランドピアノを無料で開放します

東海文化センターでは、グランドピアノ(ヤマハCFⅢ-S)を無料開放します。

●**利用可能日** 4月21日(土)・25日(水)・29日(日)、5月12日(土)・15日(火)・26日(土)、6月6日(水)・22日(金)・30日(土)

●**利用時間** 平日/午後1時~8時 土・日曜日、祝日/午前10時~午後5時

●**場所** 東海文化センター

●**対象** 村内在住・在勤・在学の方

●**使用料** 無料(1人1回1時間、2回まで可)

●**申し込み・問合せ** 4月15日(日)の午前9時から(財)東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)窓口で受け付けます。なお、空きがある場合のみ、同日午後1時から電話でも受け付けます。

公共施設を利用しましょう!

学校施設・河川敷グラウンド利用調整会議

村内のスポーツ団体などを対象とした公共施設の利用調整会議を総合体育館で行います。

小中学校体育館・中学校格技場調整会議

●**期日** 4月17日(火)

●**時間** 午後6時30分から

●**対象施設** 村内小中学校の体育館および中学校の格技場

小学校・河川敷グラウンド調整会議

●**期日** 4月18日(水)

●**時間** 午後6時30分から

●**対象施設** 村内小学校のグラウンドおよび久慈川河川敷グラウンド(ソフトボールおよびサッカー場)

問合せ

教育委員会社会教育課文化・スポーツ振興担当(内線1422)

エトセトラ

家庭用生ごみ処理機器の購入費を補助します

村では、生ごみの減量化・資源化を目的に、家庭用生ごみ処理機器(電動生ごみ処理機・コンポスト容器)の購入費を補助します。

●**補助金額** ①**電動生ごみ処理機**…30,000円を上限に販売価格の2分の1を補助します(1世帯当たり1台まで)。②**コンポスト容器**…1台につき4,000円を上限に、販売価格の2分の1を補助します(1世帯当たり2台まで)。

●**申し込み・問合せ** 経済環境部環境政策課環境保全担当(内線1451)に申し込みを済ませ、受け取った整理券と印鑑を持参の上、販売店で購入手続きを行ってください。

交付します 浄化槽設置補助金

●**対象** 村内で①東海村公共下水道事業認可区域外に設置する②専用住宅に浄化槽を設置しようとする③平成19年度中に設置工事が完了する——を満たす方(申し込み多数の場合は抽選となります)

●**補助金額** ①5人槽(床面積140平方メートル以下)…342,000円 ②7人槽(床面積140平方メートル超)…414,000円 ③10人槽(2世帯住宅等で、トイレ・風呂・キッチン等を2か所ずつ設置する場合のみ)…537,000円

●**申し込み・問合せ** 経済環境部環境政策課環境保全担当(内線1451)で受け付けています。なお、申請者は、設置する方およびその家族に限ります。

費用
無料

「こころのよろず相談」のお知らせ

- 期 日 毎月第3土曜日
- 時 間 ①午後1時30分 ②午後2時30分 ③午後3時30分
- 場 所 地域活動支援センター「ふわり」(ひたちなか市柳沢2831)
- 内 容 心の病気などの相談 ※精神保健福祉士による個別面談です。
- 申し込み・問合せ 相談を希望する日の前日までに、地域活動支援センター「ふわり」(☎264-1500)へ申し込みください。

入場料
無料

東海研究開発センター施設見学会

- 期 日 4月22日(日) ※雨天決行
- 時 間 午前10時～午後3時
- 場 所 原子力科学研究所、アトムワールド、核燃料サイクル工学研究所
- 内 容 施設見学、実験教室など
- その他 来場者全員に記念品を差し上げます。
- 問合せ 日本原子力研究開発機構東海研究開発センター管理部総務課(☎282-6045)

となりのまちから イベントガイド

茨城町 ● 潤沼自然公園

潤沼のほとりの自然を丸ごとアウトドア施設にした公園です。

- ◆利用期間 4月25日(水)～10月31日(水)
- ◆利用料 ①オートキャンプ場(56区画)…1区画5,000円 ②テントサイト(最大100張り)…テント1張り2,000円/タープ1張り1,000円 ③バーベキュー炉(6炉)…1炉1,500円 ④バーベキューのみ…1人100円(5歳以上) ※別途、入園料200円(5歳以上15歳以下の方は100円)が掛かります。
- ◆問合せ 潤沼自然公園管理事務所(☎293-7441) 茨城町商工観光課(☎292-1111)

高萩市 ● 丹生神社の「棒ささら舞い」

棒の先に獅子頭を付けた3匹の獅子が、周囲に幕を回した屋台の中で棒を操り舞うささらです。

- ◆期 日 4月15日(日)
- ◆場 所 丹生神社境内(松岡小学校北側)
- ◆内 容 棒ささらの演技(①午前10時 ②午前11時30分 ③午後1時)、模擬店の出店
- ◆問合せ 矢野正三さん(丹生ささら保存会事務局 ☎0293-23-1580)

北茨城市 ● 漁業歴史資料館「よう・そろー」

祭事船の展示や茨城の漁業、海の伝統文化などを分かりやすく紹介する、漁業歴史資料館「よう・そろー」が5月1日(火)にオープンします。

- ◆開館時間 午前10時～午後5時(5月3日以降は午前9時開館) ※毎週水曜日は休館
- ◆場 所 大津漁港内(北茨城市関南町仁井田789)
- ◆問合せ 北茨城市農林水産課水産振興室(☎0293-43-1111)

常陸太田市 ● 第19回竜神峡鯉のぼりまつり

歩行者専用としては本州一の375mの長さを誇る「竜神大吊橋」。一面が新緑に染まる竜神大吊橋周辺に、約1,000匹の鯉のぼりが竜神峡の空を雄大に泳ぎます。特に、5月5日(土)には中学生以下の渡橋料が無料になるなど、ゴールデンウィーク期間中は多くのイベントが行われます。

- ◆期 間 4月21日(土)～5月13日(日)
- ◆場 所 竜神大吊橋(常陸太田市天下野町)
- ◆問合せ 水府観光協会(☎0294-85-1116)

水戸市 ● 水戸市長杯第22回綱引大会参加者募集

- ◆日 時 5月20日(日) 午前9時集合
- ◆場 所 青柳公園市民体育館(水戸市水府町864)
- ◆チーム構成 試合出場者は8人。選手(8人～10人)、監督・トレーナー(各1人) ※計10人以内は監督・トレーナーの選手兼任可。
- ◆種 別 ①一般男子…8人の合計体重が600kg以下 ②一般女子…8人の合計体重が520kg以下 ③男女混合…男女各4人。8人の合計体重が560kg以下 ④小学生…小学5・6年生(男女混合可、体重制限なし)
- ◆参加費 1チーム…3,000円(小学生チームは1,000円)
- ◆申し込み・問合せ 5月9日(水)までに、水戸市スポーツ振興協会(水戸市見川町2256 ☎243-0111)へ申し込みください。

日立市 ● ひたち国際大道芸

日立会場

- ◆日 時 5月12日(土) 正午～午後5時
- ◆場 所 ひたちぎんざもーる、パティオモール、日立新都市広場(午後9時まで)など

多賀会場

- ◆日 時 5月13日(日) 正午～午後5時
- ◆場 所 よかっぺ通り、多賀市民プラザ

問合せ

日立シビックセンター(☎0294-24-7711)



須和間幼稚園 ● とび 飛田凌介くん

イルカショー

幼稚園の遠足で行ったアクアワールドでイルカショーを見たときの様子を描いてくれた凌介くん(5歳)。「イルカがジャンプしているところが一番楽しかったよ」と笑顔で話してくれました。

ぼくの夢 Dream-78 わたしの夢



夢は…。 “ユニセフ職員”

白方小学校6年 ● 荻野未帆

私は将来、ユニセフで働きたいという夢を持っています。この夢を持ったのは、いろいろなお店で見掛ける、「ユニセフに協力を」と書かれた募金箱に興味を持ったことがきっかけでした。

家に帰り、ユニセフについて調べてみると、今まで私が知らなかった世界がそこにありました。約11億人の人々が安全な水を使えず、川や池からくんだ汚い水を使うために、病気になってしまう子どもが大勢いることや、小学校へ通えない子どもが1億2,100万人もいて、読み書きや計算ができず、きちんとした仕事に就けないため、貧しい生活から抜け出すことが難しいことなどを知り、とてもショックを受けました。

私は、このように困っている人々を助けられたら、どんなにうれしいだろうと思いました。今も、世界のどこかで幼い命が失われています。私は、世界中の子どもたちが明るい未来を築くための手助けがしたいです。

わが家の子育て奮戦記

表紙の「ひと」 黒沢有紀



公園で遊ぶことが大好きな長男・夏海(3歳7か月)と、ハイハイを始めていろいろなものを口に入れてしまうために目が離せなくなった長女・風夏(8か月)と、笑ったり泣いたり怒ったりしながら、にぎやかな毎日を過ごしています。私は一人っ子なので、兄妹がどのようなものなのか分からないのですが、夏海は風夏が泣き出すと手を握ってくれたり、おもちゃを持ってきてくれます。そんな兄が大好きな風夏は、いつも目で夏海を追い、夏海があやすと「キャッキャッ」と声を出して笑います。そんな2人の姿がほほ笑ましく、兄妹っていいなと感じています。東海村に引っ越してから、1年がたちます。これを機に仕事を辞め、専業主婦になった私にとって、不慣れな場所での生活やライフスタイルの変化は、戸惑うことが多くありました。ずっと子どもと過ごすようになったことで、「生活は規則正しく」「しつけはしっかり」「思いやりのある子に」など、子どものことは、すべて自分が責任を持ってやらなければいけないと強く思い、夏海にイライラしてしまふことが多くなりました。しかし、

周りからの評価を気にし過ぎていくことに気が付き、自分のためではなく、子どもが居心地のよい環境をつくるのが大切だと思うようになりました。そして今では、独りで抱え込むのではなく、周囲の方々に支えてもらいながら子育てしていくことで、私の気持ちも楽になり、子どもにとっても良い環境ができるのだと考えています。「子は親の鏡」といいます。夏海の言動で嫌な気持ちになるとき、その言動は、日ごろから自分が行っていることなのだと気付かされることがあります。気付かされたおかげで、それを直していこうという気持ちになります。このように、子どもがいるからこそ味わうことができる体験や心を悩ますことを通して、親としても人としても成長させてもらっています。これからも、共に悩み、考え、笑い合える夫、快く支援してくれる私たちの家族、気持ちを共有できる現在子育て中のママたち、子どもといると心温かい声を掛けてくれる地域の方々に支えられながら、子どもと過ごせる毎日に感謝して、楽しく子育てに奮闘していきたいと思っています。